

令和5年度 年間授業計画

都立南平高等学校

| | | | | | | | |
|-----------|------|----------------------------|----|------|---|---------|---|
| 学年 必・選 | 3年選択 | 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅰ・A演習 | 単位 数 | 2 |
| 教科書 | | 改訂版 高等学校 数学Ⅰ，数学A (数研出版) | | 使用教材 | <div>学校専用</div> <div>共通テスト</div> <div>分野別演習 数学ⅠA/Ⅱ (Z会)</div> | | |

| | | 指導内容 | 指導目標 | 予定 時数 |
|-----|-----------|---|---|----------|
| 一学期 | 中間 考査 | 第1章 数と式 (1)式の値 (2)絶対値を含む方程式・不等式 第4章 集合と命題 (3)集合 (4)必要条件・十分条件 第2章 2次関数 (5)放物線の平行移動 (6)2次関数の最大・最小 | ・基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、頻出問題が確実に解けるように演習する。 ・工夫し計算を効率よく行えるようにし、応用的な問題にも対応できる思考力を身につける。 ・集合と論理の基本を学び、命題の真偽や必要十分条件を考えることができる。 ・2次関数の標準型、一般型の使い分け、放物線の移動、および軸に文字を含むタイプの最大・最小が解けるようにする。 | 14 |
| | 期末 考査 | 第2章 2次関数 (7)2次関数の最大・最小 (8)2次不等式 (9)放物線とx軸の共有点 第3章 図形と計量 (10)正弦定理・余弦定理 (11)円に内接する四角形 (12)空間図形と三角比 総合演習 | ・2次関数の定義域に文字を含むタイプの最大・最小、およびグラフとx軸の共有点の符号を理解する。 ・正弦定理や余弦定理、面積の公式等を活用し、三角比の計算・図形の面積・体積を確実に求められる。 ・数学Ⅰ・Aの範囲について、総合演習を行い、幅広く知識の定着と活用を図る。 | 16 |
| 二学期 | 中間 考査 | 第6章 場合の数と確率 (16)場合の数・順列・組合せ (17)確率の基本 (18)反復試行の確率 (19)条件付き確率 第8章 図形の性質 (20)(21)平面図形 (22)空間図形 | ・事象の理解、場合の数の計算・確率の計算をできるようにする。 ・やや応用的な場合の数・確率の計算ができるようにする。 ・基本的な図形の知識を身につける。 ・チェバの定理、メネラウスの定理、方べきの定理などの理解を確実にする。 | 14 |
| | 期末 考査 | 第7章 整数の性質 (23)約数と倍数 (24)方程式の整数解 (25)整数の種々の問題 第5章 データの分析 (26)データの分析 | ・整数を扱い、数への理解を深める。 ・データの扱い、基本的な知識を身につける。 | 16 |
| 三学期 | 学年 末考査 | 個別総合演習(共通テスト対策演習) | ・個別に総合演習(共通対策演習)を行い、力をつける。 | 10 |
| | 計 | | | 70 |

| | |
|--------------|----------------------------|
| 評価の 観点・方法 | 通常の定期考査の得点を基本とし、総合的に評価を行う。 |
|--------------|----------------------------|